

CLIL × EMI × CBI

経済教育 経済教育 経済教育

経済教育と 英語教育の 融合の実現をめざす シンポジウム



経済教育学会第6回地域研修会

文部科学省による教育グローバル化の推進に伴い、大学教育の現場では、各大学のカリキュラムポリシーに基づき、英語で書かれた教科書や教材をどのように教えるかを検討し、教科教育を実践する必要性に迫られている。しかし、その際、どのような目的で、どのような教育方法を実施すべきかについては、実際の教科教育をおこなう教員にコンセンサスがあるとはいいがたい。本シンポジウムでは、CLIL（内容言語統合型学習）を含めた教授法の特色を認識し、英語の教科教材を用いて専門科目（今回の場合は経済学）を教える可能性を検討する。経済学関連の教員と英語教員、加えて教育学関連教員が連携しておこなう教育実践の一つのモデルをさぐりたい。

- パネラー**
- 八木紀一郎先生**
[摂南大学] *シンポジウムコーディネーター
 - 柏木賀津子先生**
[大阪教育大学] *日本 CLIL 教育学会西日本支部長
 - キャロライン・ハッチンソン先生**
[日本大学]
 - 徳丸夏歌先生**
[立命館大学]
 - 新里泰孝先生**
[富山大学]

12月 / 8日 13:00~17:00
大阪工業大学 OIT梅田タワー
202号室
Seminar Room
大阪市北区茶屋町1番45号

共催●経済教育学会・摂南大学教務部教育イノベーションセンター
経済教育学会 <https://jsee.ecoedu.jp>

お問い合わせ●日本大学 経済学部 久井田直之 kuida.naoyuki@nihon-u.ac.jp

アクセス●<http://www.oit.ac.jp/institution/access/index.html>

URL●<https://www.kokuchpro.com/event/8d913b91548f71593e1c005915153dc8/>



科研費
KAKENHI

本シンポジウムは、科研費・基盤C「英語経済学オンライン教材 CORE プロジェクト」を用いた経済教育と英語教育の連携（課題番号 19K02767、2019-21年度）の支援を受けています。